

地区防災ガイド 厚田区古潭地区会議録

【日 時】 平成 29 年 10 月 5 日（木） 16 時 30 分～
【会 場】 古潭会館
【参加人数】 5 人

津波浸水想定変更に伴う検証について

---（支所から説明）---

○平成 24 年度、地域の皆さんで協議し、避難場所や避難経路を決定したが、浸水想定等が変わったため、あらためて検証いただきたい。

（津波浸水想定がどの様になったのか『映像（CG）』確認・説明）
（図面を基に「津波浸水想定」を確認・説明）

---（参加者から）---

○ケースバイケースだが、古潭川を挟んで、

- ① 北側の人は北方面へ → 新厚商事（古潭地区避難所）
- ② 南側の人は南方面 → 国道の高台へ（一時避難）

古潭川南側の人が新厚商事まで上るのは困難とのことであり、上記のように避難経路を見直す必要がある旨の提言がなされた。〈参集者全員〉

- 古潭川は、河川改修しておらず原始河川となっているため、津波には意外と強いらろうが、大雨災害では川から海へ抜けなため、浸水すると思われる。
- 車で避難できれば良いが、30 分程度で避難所まで上がれるか疑問。
- 一時避難として、まず古潭神社まで登れるかどうか、国道まで登れるかどうか。
- 古潭の神社は高さが 13 メートルしかない。神社の下で 7 メートル。・秋田商店の裏が 5 メートル。
- 前は全員が新厚商事へ行こうということにしたが、全員が新厚商事へ行くのは難しいかもしれないので、古潭川を挟んで、北側は新厚商事へ、南側は南の国道へという事も検討した方が良いのではないかと。一度南側の国道へ行ってしまうと、新厚商事の所へ行くのは難しい。その際は飲料水等を持参した上で、雨風をしのぐなど、命を繋ぐ事が必要になるのではないかと。

土砂災害警戒区域等の指定に伴う検証について

---（支所から説明）---

（図面を基に「土砂災害警戒区域」等を確認・説明）

---（参加者から）---

- 古潭会館の裏周辺が危険区域に指定され、大雨・長雨が降った場合は警戒を要する。
- 古潭川沿線と開パ5号支線の交差点付近の周辺も警戒区域に指定されている。
- 古潭三号橋付近、土砂が溜まるので水が溢れるのではないかと心配である。

⇒ 支所）近日中、担当者を出向かせ確認する。